

『日本を歌うチマッティ神父』歌

詞集

第一部

2 鉄砲伝来の歌 木下奎太郎 作詞

天文中に 秋半ば 風おさまりし日の夕べ
種子島なる 西浦に くしき大船 現れぬ
シナより流れつけりとぞ

船のなかなる 唐人に 混じる三人の異国人
ポラリヨードモッタ ベイショット
ポルトガルよりもたらせし 鉄砲をこそ 伝
えたれ

領主時堯(ときたか)喜びて かなだくみ呼び
このうつわいてつくらしむ
これよりぞ 六四衆 武士(もののふ)の
てなみにさゆる あれだまし
御国を守る つわものは
アジアをいかす 力なり
今鉄砲の伝来のふるごとしのび
おおいなる 建設のわざ ことほがむ

3 舟歌(歌劇「原城哭く」より) 坪内

章譯 作詞

ゆくえ定めぬ 波まくら
帆に吹く風を子守歌
ゆたのたゆたに 夢を見る
これぞ命の さまなりや
海をゆりかご 大空を 丸天井と
すみなせば なにを浮き世と なげくべき
心をさわがす かげもなし
これぞ命のさまなりや

かくも楽しき 我が命
未だ旅路ははるけきを 船のあとひく
なみのごと 徳も消えんとするはなぞ
やすむことなき わだのはら
かなたありを かみてなり
ここかいのもと しのびなく
ななきそ海を おしなべて
これぞ命のさまなりや

いこえ わたつみ ながむねに
月さへ いらて 眠れるを
我に聞かせよ 子守歌
そよぶく 風に 合わせつつ

星影清き 大空に 登りて消ゆる 我が歌や
生きとし生けるもの みな
永久の調べのひとくさり おお!

4 ジャガタラの月

星は乱れ飛ぶ 麗しの夜や
雲晴れて ジャガタラの月は さやかに さ
やかに
ジャガタラの月は 波に照り
静かなる風は かすかに 笛の音をさそう
今宵の月をいわん

5 踏み絵 上田 敏 作詞

真鍮の角なる版(いた)にビルゼン(=聖母)の
像あり
もろもろの御弟子 これをめぐる
母に手をとめ 我が子の娘
帰命頂礼(きみょうちょうらい)サンタマリア
これもまた真ちゅうの版 万民に代わりて
されこうべの丘にクルスを 負うユダの君
ナザレのイエス キリスト 神の御子
不思議なる御名にこそあれ イエス・キリスト
神の御子 世の人の救い
げに 生き神よ 始めなり 終わりなり
絵踏みせよ 転べ 転べと 拷問ぞ切なる
いでや、この今日の試みに 克ちおおせなば
パライソ(=天国)に行き 挫けたらむには インヘルノ(=
地獄)

パテレンの師の宣わく マルチルの功は
大悪の七つのモルタ とがを贖う
ブルガトリオ(=煉獄)を まっしぐら行け パライソへ
大日本朝日の国の 信者たち 努めよ
名にし負う アンチクリストの 力を挫く
義軍の先駆け かかれ 主のごとくはたものに
この標 世に克つ標 あらたかの標ぞ ありし ある
あらむ世をかけて 絶えず消えせぬ 命の光
高くに仰げ サンタクルス
見よ かかる殉教の士を 天草は農人
五島に鯨とる子も ガリレヤ海の
海人の習いと 悲節を守りつく
代々に聞く 名こそ異なれ
神は なお この世を知らず
ただひとり おぼつかな 今の求道者
「識らざる神」の証にと死する勇ありや

6 三月十日東京空襲(戦災孤児の歌)

いえうせし 三月十日
我さびし 雨もそそぐや
雪の涙を 雪の涙を
ただひとり 過ぎし 一年(ひととせ) さ
まよいて
うちしのぎしや 七難八苦
暖かき 手に導かれ
はらからの多き この宿 夢にあらんや
火にあたり 窓ごしに見る 白雪を

母なき 母なき宿の寒きかな

7 富士山を見て

あめつちの 別れしときゆ
神さきて 高くと ときするがなる
富士の高嶺を 天の原
ふりさけ見れば 亘る日の陰もかくるい
昼 月の光も見えず
白くもも いぶきはばかり
時じくぞ 雪は降りける
語り継ぎ いひつぎゆかむ
富士の高嶺は 富士の高嶺は

8 キリスト信者の扶けなる聖マリア

キリスト信者の たすけなる聖マリア
我らのために 祈りたまえ
キリスト信者の たすけなる聖マリア
我らのために 祈りたまえ
キリスト信者の たすけなる聖マリア
キリスト信者のたすけ 我らのために 祈り
たまえ

9 おゝ マリア! デルコール作詞

おゝ マリア あの暗い寂しい洞穴
光の泉と 今変わりました
あなたのほほえみ 全世界を照らす
あなたの祝福 全世界を救う
御元に集まって 我らも共に 祈りましょう
めでたし マリア (恵み満ちたおかた)
めでたし マリア (一番幸せなおかた)
めでたし マリア (御神の清い御母)
めでたし マリア (我らの救いの母)
今も臨終の時も (めでたし マリア)
いつも マリア(めでたし マリア)アーメン

10 天の元后

天の元后 喜びたまえ アレルヤ
御身に宿りたましいものは アレルヤ
のたまえるごとく よみがえりたまえり アレルヤ
我らのために 天主に 祈りたまえ
アレルヤ アレルヤ
童貞マリア 喜びたまえ 楽しみたまえ ア
レルヤ
主 まことによみがえりたまいたればなり
アレルヤ アレルヤ アレルヤ アレルヤ

第二部

11 ひばり

なごりなく霞は晴れて 朝 ひばり

あがるかぎりも 見ゆる空かな
夏草も茂みが中に混じれども
なおしなたかし 姫百合の花
朝 ひばり 朝 ひばり

12 うちの子猫

うちの子ねこは かわいい子ねこ
首の小鈴をちりちりちり ちりちり鳴らし
裾にからまりたもとにすがる
うちの子ねこは かわいい子ねこ
首の小鈴をちりちりちり ちりちり鳴らし
まりとじゃれては 縁から落ちる
うちの子ねこは かわいい子ねこ
首の小鈴をちりちりちり ちりちり鳴らし

13 創造主の歌

広いお空 青い海
高いお山や 緑の野原
森にさえずる小鳥たち
水に住む魚 野山の獣
夜は輝く 星の数

燃える太陽 涼しい風
やさしい雨に 笑う花
きれいな世界の 創り主
とうさま かあさま わたくしたちも
お創りなされた 神様

14 いろはにほへと

いろはにほへと ちりぬるを
わがよたれぞ つねならむ
うゑのおくやま けふこえて
あさきゆめみし 糸ひもせず

15 デンデンムシムシ

でんでんむしむし かたつむり
頭があるか 目があるか
つのだせ やりだせ めだまだせ

16 春が来た

1. 春が来た 春が来た どこに来た
山に来た 里に来た 野にも来た
2. 花が咲く 花が咲く どこに咲く
山に咲く 里に咲く 野にも咲く
3. 鳥が鳴く 鳥が鳴く どこで鳴く
山で鳴く 里でなく 野でも鳴く

17 やまびこ

おーい おーい だれだ だれだ
ばか ばか ばか、だれだ だれだ

18 富士の山

1. 頭を雲の上に出し 四方の山を見下ろして

雷様を 雷様を 下に聞く
富士は日本一の山

2. 青空高くそびえ立ち 身体に雪の着物着て

霞の裾を 霞の裾を 遠くひく
富士は日本一の山

19 飛行機

1. あれあれ 上がる飛行機が
大きな鳶が飛ぶようだ
ずんずん上がる雲の上
乗ってみたい飛行機に

2. あれあれ あんなに飛行機が
小さなとんぼが飛ぶように
だんだん近寄るお日様に
あんなに飛んだら愉快だろう

20 夕やけこやけ

夕焼け 小焼け 明日天気になあれ

21 ねんねんころりよ

ねんねんころりよ おころりよ
ぼうやはよいこだ ねんねしな

22 しいの木と榎の実

思う存分 はびこった 山のふもとの椎の木は

根元へ草も寄せつけぬ

山の中からころげ出て 人に踏まれた榎の実が

椎を見上げてこう言った

今に見ている ぼくだって 見上げるほどの大木に

なってみせずにおくものか

何百年か経った後 山のふもとの大木は
あの椎の木か榎の木か

第三部

23 Inno Barcarola (舟歌)

La barca dondola sovra le limpide acque del mar
tra nubi diafane e stelle argentee la luna appar.

lo canto e gli angeli lievi trasvolano
lievi trasvolano in bianco vel.

Scendono scendon, vibrano vibrano
le cetere tra il mare e il ciel.

Scendono, scendono, scendono.

Angioli belli dalle alucce d'oro
recate forse in cielo un gran tesoro

Angioli belli dall'ali d'argento
che tesoro portate al firmamento?

Angioli belli ditemi qual' e'.

Ed il tesoro nostro e' tutto amore,
che per un Padre amato vien dal core,
ed il tesoro nostro son preghiere,
che sgorgano dall'anima sincere.

< 訳詞 >

澄み切った波の上に 小船がゆれる

銀色の透きとおった雲の間に 月が現われる

私の歌とともに 天使たちが走りまわり

琴を奏でて 海と天の間にくだる

くだる、くだる、くだる

金銀の翼の美しい天使たちよ

どんな宝を天に運んでいくのか

どんな宝を運んでいくのかを教えてください

私たちの宝は御父に対する 真心の愛

心から湧きでる 純粹な祈り

24 Maria auxilium christianorum

Maria auxilium christianorum ora pro nobis.

< 訳詞 >

キリスト信者の助けなる聖マリア

われらのために祈りたまえ

25 Salve Regina

Salve Regina, Mater misericordiae

vita, dulcedo et spes nostra, salve.

Ad te clamamus exules filii Evae,

ad te suspiramus gementes et flentes

in hac lacrimarum valle.

Eia ergo advocata nostra

illos tuos misericordes oculos ad nos converte.

Et Iesum benedictum fructum ventris tui

nobis post hoc exilium ostende.

O clemens, o pia, o dulcis Virgo Maria.

< 訳詞 >

元后、あわれみの母

われらの いのち よろこび 希望

旅路から あなたに叫ぶ エバの子 なげきながら

泣きながらも 涙の谷にあなたをしたう

われらのために とりなすかた あわれみの目を

われらの注ぎ とうとい あなたの子 イエズを

旅路のはてに 示してください

おお、いつくしみ 恵みあふれる 喜びの乙女 マリア

26 Ave Maria

Ave Maria, gratia plena, Dominus tecum.

Benedicta tu in mulieribus

et benedictus fructus ventris tui Iesus.

Sancta Maria, Mater Dei,

ora pro nobis peccatoribus,

nunc et in hora mortis nostrae. Amen

< 訳詞 > 27 参照

27 アヴェ・マリア

めでたし聖寵満ちみてるマリア
主御身と共にまします
御身は女のうちに祝せられ
ご胎内の御子イエズスも祝せられたもう
天主の御母聖マリア 罪人なるわれらのため
に
今も臨終の時も祈りたまえ アーメン

28 アヴェ・マリア (あかつきに響く鐘)

アヴェマリア あかつきに響く鐘は
地に果てに 君を讃う
アヴェマリア 星空に跪けば さやけくも想
いは高く
アヴェマリア アヴェマリア アヴェマリア

29 Lauda fanciullesca

Ave Maria, se piccolo è ancora il nostro cuore,
Tu non disdegni ai piccoli discender per amore.
Odi le voci ingenue dei semplicetti cor;
A te doniamo candido de l'innocenza il fior.
Se così buona e amabile ti mostri a chi è piccino,
Tra le mie braccia affidami per poco il tuo Bambino.
Non lo farò mai piangere, ma sol baciario in viso,
E riportarlo subito nel tuo bel paradiso.

(1st) Se così buona e amabile ti mostri a noi
Tra le mie braccia affidami il Bambino.

Odi le voci ingénue dei semplicetti cor,
(2nd) Ave Maria, dei pargoli ascolta la preghiera
come a te sgorga semplice dai cori,
e a mane e a sera odi le voci dei semplicetti cor.
a te doniamo candido de l'innocenza il fior,
Ave Maria.

< 訳詞 >

アヴェマリア 私たちの心が小さくても
あなたは喜んで子供たちに近づきます
純粹で素直な心の声を聞いてちょうだい
私たちは 純白な心の白い花を捧げます
小さい者に対して心優しいかたですから
私の手に少し御子を抱かせてちょうだい
決して 泣かせません ただ接吻して
あなたの美しい天国に返します
(第一) 私たちに対して心優しいかたですから
私の手に御子を抱かせてちょうだい
純粹で素直な心の声を聞いてちょうだい
(第二) アヴェマリア
子供たちの祈りを聞いてちょうだい
純粹な心から上がる祈りを
朝夕、純粹な心の声を聞いてちょうだい
あなたに純白な心の白い花を捧げます

30 Ave Maria di grazia piena

Ave Maria di grazia piena
Il Signore è tecco
Tu sei benedetta fra tutte le donne
E benedetto è il frutto del tuo seno Gesù.
Santa Maria Madre di Dio
Prega per noi peccatori
Adesso e nell'ora della nostra morte. Così sia.
< 訳詞 > 27 参照

31 アヴェ・マリア (御身はゆかし愛の母)

アヴェマリア 御身はゆかし 愛の母
とげなきバラよ 清き助けよ
アヴェマリア 母なる君よ 我が守り
我らが祈り 取り次ぎたまえ アヴェマリア

32 Anima di Cristo

Anima di Cristo santificami.
Corpo di Cristo salvami.
Sangue di Cristo inebbriami.
Signore abbi pietà.
Acqua del costato di Cristo lavami.
Passione di Cristo confortami.
O buon Gesù esaudiscimi.

Signore abbi pietà.
Fra le tue braccia nascondimi,
Non permetter ch'io mi separi da te.
Dal nemico maligno difendimi,
Difendimi Signor.

Signore abbi pietà.
Nell'ora della mia morte
deh, chiamami, Signore.
E comanda ch'io venga a te, Signor,
Per lodarti cogli Angeli e coi Santi
Nei secoli dei secoli. E così sia.

< 訳詞 >

キリストの魂よ 私を聖とし
キリストの体よ 私を救い
キリストの血よ 私を酔わせてください
主よ 憐れみを
キリストのわき腹の水よ 私を清め
キリストの受難よ 私を慰め
良いイエスよ 私を聞き入れてください
主よ 憐れみを
あなたの腕の中に私を隠し
私があなたから離れることがないように
恐ろしい敵から私を守ってください
守ってください 主よ
主よ 憐れみを
死の時に私を呼んでください 主よ
私があなたのもとに来るように命じてください
主よ
天使と聖人と共にあなたを賛美しますように
世々にいたるまで そうなりますように

33 アヴェ・マリア

プログラム裏参照

CD・ビデオ発売のお知らせ

『心が歌うチマッティ神父』 C D=1,500 円

ビデオ=2,000 円

『チマッティ神父 その声 そのころ』

新発売 C D = 1,500 円